

私の想い

【共に支え合う】

地域福祉の推進



大崎町社会福祉協議会
事務局長
中倉 幸二 氏

平成31年3月末で大崎町役場を定年退職し、同年4月から大崎町社会福祉協議会に勤務して10か月が過ぎました。当初は業務内容の違いに戸惑いも度々有りましたが、会長をはじめとする役員等の方々のご指導・ご協力のおかげで、如何にか職務を遂行できるまでになってきました。ことに心より感謝しているところです。

さて、社会福祉協議会とは、社会福祉法に基づきすべての都道府県・市町村に設置され、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域の福祉推進の中核としての役割を担い、

様々な活動を行っている非営利の民間組織です。会員である地域の皆さん方による会費、善意の寄付金、市町村からの補助金や委託金、介護保険事業収入等を主な財源とし、「誰もが住み慣れた地域で、安心して生活することのできる福祉のまちづくり」の実現を目指して、関係機関や地域の皆さんと協働で様々な福祉活動に取り組んでいます。

近年、急速な少子高齢化や核家族化の進行、住民相互のつながりの希薄化など、地域コミュニティを取り巻く環境が大きく変化するなか、地域における福祉ニーズは多様化・複雑化してきており、こうした状況に対応するためには、顕在化してきている地域の福祉・生活課題を的確に把握し、様々な課題解決に向けた多様な福祉活動を積極的に推進していくことが求められてきています。

このようなことを踏まえ、地域に暮らす人達が共に支え合い、自分らしく活躍できる地域コミュニティを構

築し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向けて、地域の皆さんをはじめ、民生委員・児童委員、ボランティア、行政機関等の様々な団体と連携・協働を図るとともに、地域内外に存在する課題解決に役立つ社会資源を見いだし、そしてそれを上手く活用しながら、自分のこれまでの知識・経験を活かして微力ながら頑張っていきたいと思っています。



定期的開催されている「ふれあい・いきいきサロン」

編集後記

新年おめでとうございます。今年、令和の元号になって初めて迎える正月ということで皆様方におかれましても新年の決意を新たにされたこととお察し申し上げます。

今年、約半世紀ぶりの2020オリンピックに併せたパラリンピックと共に本県においては、48年ぶりとなる**かごしま国体**の開催など大きな節目の年となります。

わが大崎町では、ビーチバレーが開催され大きな賑わいが想定されます。昨年のラグビーワールドカップにおいて、ときの流行語ともなった「**ワンチーム**」の意識が国民全体に波及したことは記憶に新しいところでありますが、内外に諸課題が山積する中で私ども町議会としても全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

(吉原信雄)

議会広報広聴常任委員会

- 委員長 児玉孝徳 副委員長 稲留光晴
- 委員 小野光夫 委員 吉原信雄
- 委員 中倉広文 委員 諸木悦朗

発行責任者 大崎町議会議長 宮本 昭一